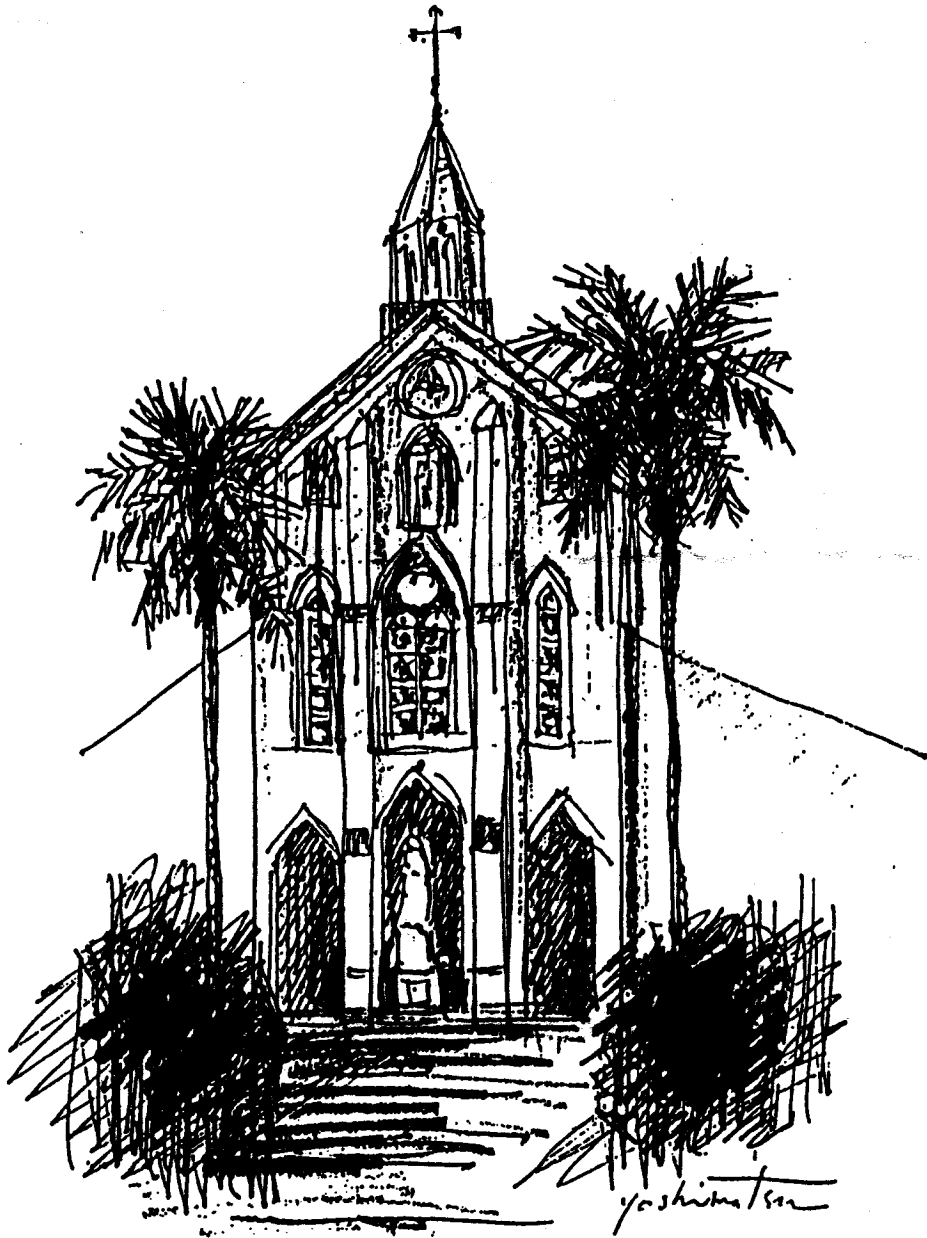


いしだたみ



長崎南高関西同窓会報 VOL. 1

会報発行の挨拶

昨年の9月8日に多くの同窓生の参会のもと長崎南高関西同窓会の創立総会が発足しました。参加された方は、総会での楽しい語らいを共通にできたと思います。家路へ向かう道すがらの例えようもない安らぎは、やはり高校の同窓会ならではの楽しさによると思います。そしてこのような思いの場を共有できる繋がりを今後も継続することが是非とも必要であると考えて、今回の会報発行を企画することにしました。

長崎南高関西同窓会の総会員は約800名ですが、そ

のうち総会参加者が約170名あり、さらにその年の年会費納入者111名を加えると総会員の約35%の積極関与が得られています。さらに多くの人の参加を求めるために同窓会が果たしうるのは、同窓会の情報を出来るだけ沢山届けることにより親密な関係をつくる手助けをすることであると思っています。その様な観点から今回は出来るだけ各地で活動している同窓生の現地からの生の声を取り上げてみました。今後もこの企画を継続したいと思いますので是非御協力下さい。

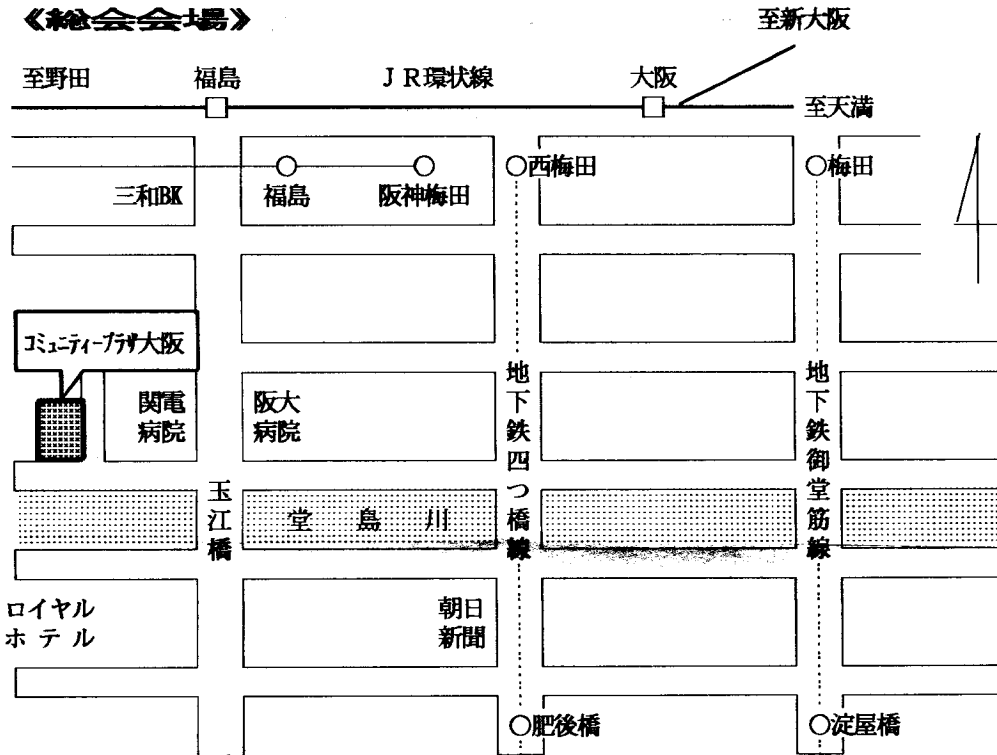
長崎南高関西同窓会総会ご案内

第2回総会を下記の通り開催致します

昨年の創立総会の楽しい余韻が残る今年、第2回総会を計画しました。学生時代に戻って安らぎある楽しいひとときを、懐かしい仲間と語り合しましょう。創立総会参加者170名で繋いだ輪を今年はさらに広げようではありませんか。多数の同窓生の参加をお願いします。

- ◇とき 平成4年9月15日(火) 敬老の日 12:00~16:00
- ◇ところ 福島区・コミュニティプラザ大阪(3Fホール) ※詳細は下図を参照
☎06-454-1153(代表)
- ◇かいひ 男性 10,000円
女性 8,000円
学生 5,000円 } 年会費2000円を含みます。

《総会会場》



・JR福島駅から徒歩10分 ・阪神福島駅から徒歩10分 ・地下鉄肥後橋駅から徒歩10分

◇長崎便り◇

長崎新聞・放送部デスク次長 小川 完二(4回卒)

同窓会紙の発刊をお喜び申し上げます。会紙が情報交換の場となり、また古里・長崎を離れ関西地区で活躍する同窓会員皆さんの刺激剤として役立てば、と願ってやみません。そこで郷土の発展のさまを通じ、皆さんの士気を鼓舞する意味を込め「ながさきNOW」をお届けします。

のんびりした長崎の街。だが変わらぬたたずまいに見える長崎もここ数年、確実に変容を遂げつつあります。変化の第一は、交通網の整備・充実。昨年春、長崎バイパスが片側二車線に拡幅され開通、川平料金所から諏訪神社方向へ抜ける西山延伸道路も完成しました。これにより、長崎空港から県庁までの所要時間は、長崎自動車道一長崎バイパス経由の場合、35分ほどで済むようになりました。

遅れていた長崎の道路事情は今後、目覚ましく改善される予定です。まず、ビッグニュースは女神大橋の建設。同大橋は長崎港をまたぎ、長崎市戸町三丁目の女神と対岸の木鉢一丁目を結ぶ延長九百メートルの長大橋で、同市内の交通渋滞緩和の切り札とされています。来年度に着工、十年後に完成の見込み。ベイブリッジとして、新たな観光資源としての効果も期待されています。市内の道路では、田上地区の田手原付近から常磐町の市民病院横に抜けるバイパス(地下トンネル)も十年後には、実

現の見通しとなっています。

全国的に話題を呼び、3月25日にオープンしたのはハウステンボス(佐世保市)。入場見込みは、初年度四百二十万人、最終的には年間六百万人以上。東の東京ディズニーランドと並ぶ我が国最大のテーマパークで、三期(平成十年)までの総投資額は五千四百億円の計画。雇用面をはじめ、地域経済に与える影響は大きく、長崎県の浮沈の鍵を握る大事業とされています。県勢浮揚のため、皆さんも応援をして下さい。

ご心配をかけている雲仙・普賢岳噴火災害についても簡単にご報告します。普賢岳は現在も火砕流が頻発、火山活動は依然衰えをみせません。だが活動の長期化が予想される中、災害からの本格的な復旧・復興計画も急ピッチで進んでいます。(財)雲仙岳災害対策基金も六百億円となり、その運用益で被災住民、地域への諸々の自立支援への対策が実施、または計画されています。

論議の高まりをみせているのは、長崎新幹線のルート問題です。当初、佐世保市の早岐を經由するアセス案が取り沙汰されていましたが、建設費や収支の点からJR九州が難色を示し、現在、佐世保をカットした井本佐賀県知事案が大きくクローズアップされている現状です。

人事関係の最新ニュースもちょっぴりお知らせします。母校・南高の一瀬栄次校長は三月三十一日付で退職、後任には県教育次長の篠崎久躬氏が座りました。南高に勤務した先生としては上田康士氏が長崎北陽台校長、ラグビーの名監督、原宮之氏が県教委体育保健課の初代体育指導監(課長級)に就任されました。

各地同窓会案内

長崎南高同窓会本部

(総会)平成4年8月7日(金)18:00~ 場所未定

※会場の都合で日程変更の可能性有り。詳細は事務局まで。

(行事)くunchi露店-平成4年10月7~9日に県庁前において新卒業生の同窓会参加初行事として長崎南高同窓会本部による露店「南茶屋」を出店。

(事務局)事務局長 入江友規 ☎850 長崎市鍛冶屋町6-11 TEL 0958(27)6397(宅) 0958(25)5151(動)

長崎南高関東同窓会

(総会)平成4年7月4日(土)15:00~

於墨田リバーサイドホール(東京都墨田区吾妻橋1-23-20 TEL 03(5608)6430)

(事務局)事務局長 松本浩一郎 ☎143 東京都大田区南馬込3-28-9 TEL 03(3773)0345(宅)

長崎南高福岡同窓会

(事務局)事務局長 岩本洋一 ☎810 福岡市中央区赤坂1-11-13

大稲ビル6F 岩本法律事務所 TEL 092(712)4081(動)

長崎県人会

(総会)平成4年7月19日(日)11:00~ 神仙閣(大阪駅前第三ビル12F)

(行事)はたあげ大会-平成4年5月17日(日)11:00~ 大阪淀川の豊里大橋河川敷

(事務局)大阪市北区梅田1-3-118 大阪駅前第一ビル8F TEL 06(345)3187 FAX 06(341)0312

◇平松屋さんも南高も健在です◇

長崎南高教諭 本馬 貞夫(4回卒)

50円? (現在は300円)のラーメンを学校帰りに食っていた南高卒業生の皆さん、平松屋のおじさん・おばさんは元気です。毎日、おじさんが昼飯どきに職員室まで届けてくれています、その数はやや少なめ、箱弁に押し入れ気味。でも、ご安心ください。私は50円のラーメンを食った義理がありますので、頑固に平松屋さんに注文しています。南高に来られるようなことがあれば立ち寄ってラーメンをご賞味ください。

もう一つ、100円の皿うどんの南翠食堂はなくなりました。昼休みに抜け出して食べた人も多いと思います。田上にある南翠食堂は縁者の方の経営とか。

さて、南高創立30周年記念式典及び事業は、成功裏に終わりました。皆さんの多大なご協力に対し深謝申し上げます。—30周年—正確には31年が経過しました。南高も第二世代の子女が学ぶようになり、1~8年生くらいの卒業生が今度は保護者として協力してくれています。

4年生だけでも6~7人おり、新入生を合わせると10人をこえることは確実な情勢にあります。おまけに中島川の畔で生まれ育った私ですから、近所の子、幼なじ

みの娘等少なからず在籍しており、授業でよけいな気をつかうようになりました。これは愚痴。

在校生は総じて優秀な者が多く、部活動に、進学にかなりの実績を上げています。「気魄と情熱」の南高もまた健在です。昨年の高総体サッカーでは、あの国見と決勝で対決し惜敗しましたが、松山サッカー場での全高生徒による応援は圧巻でした。

ここ数年は「気魄と情熱」に加えて「自主自律」を標榜するようになりました。一つには、生徒が自主的に活動する“伝統高”に脱皮するためです。いま一つは、学校五日制に対応するため、つまり家庭等における自学自習がきちんとできる生徒を育成しようというものです。勿論、基礎・基本は驍も含めて徹底させていかねばなりません。

南高は好ましい方向に歩みつつあります。今後の南高を期待し、見守ってください。6年前、夏の甲子園県予選で本校野球部が準々決勝に進出したとき、新聞を見聞西在住のある8年生が「長崎南高?長崎商業の間違いさ」とほざいていましたが、とんでもない奴です。数十年後になるかもしれませんが、甲子園出場の際は絶大なご協力をお願いします。

最後に、関西同窓会の皆様のご発展と、ご健勝を祈念して筆を置きます。

◇西成界限◇

スーパー中村・常務取締役 安宅 朗(5回卒)

皆さんは、私の勤務するスーパーの所在地である、大阪市西成区山王町という町を御存知ですか。おそらく同窓生の大多数の方々が、一步も足を踏み入れたことがない町だと思えます。そこで、山王町の紹介からさせていただきます。

まず町の東には、古き良き時代の売れない芸人達が肩を寄せ合い、その日暮らしをしていた笑いと涙の町、天王寺村。西に旧釜ヶ崎の名で全国的に悪名が高く、不労者達がたむろする、西成愛隣地区。南に昔の遊廓の風情を今も色濃く残す、花街の飛田新地。北に王将の坂田三吉で知られ、通天閣がそびえ立つ、新世界。このように四方を最も大阪らしい?場所に囲まれています。しかもこの狭い町の中に、暴力団の組事務所がなんと8カ所も有ります。この独特の雰囲気の中を、色と欲と汗とが入り混じった湿った風が吹く町、それが西成区山王町です。大阪で一番治安が悪い町だと思えます。

私の店も開店早々から、酔っぱらいや不労者が店内に入って来ます。万引きや、店への言い掛かりも日常茶飯事です。ところで、皆さんは万引きにもシーズンが有る

のをご存じですか。冬と比べ夏の方がだんぜん万引きが多いのです。冬は鍋物とか、温めて食べる商材が主体ですが、夏はそのまますぐに食べられる商品が多いことと、寒い冬と異ってどこでも寝られるので、不労者が多い為です。万引きをした不労者の大半は、なぜか九州出身者なのです。取り調べをしても、言葉の端々に方言が出てきます。そこで一句、

「万引きの なまりに故郷(くに)の 益しのぶ」

先日のお話ですが、近くのある暴力団の組事務所が、改装工事の為しばらく他の場所に移転する事になり、店に段ボール箱を分けてほしいと組員が二人来ました。その時の二人の会話です。「あれがこの店の店長でっか」

「そうや」「まるで極道やなあ」その会話に、私も困に居た社員も思わず失笑しました。上品でやさしい私の顔も、段々と土地柄に溶け込んで厳しくなって来る様です

とにかく、朝6時の出社から一日の売上げの精算を済ませ、店のシャッターを降ろす午後8時まで緊張の連続です。そして又今日も早朝6時前、まだ暗い中を、店の搬入口に並んだ納入業者の方々の「お早うございます」「毎度!」と言う元気な声に応えながら、閉店まで平穏な一日であります様にと祈りつつ、店のシャッターを開ける私です。

◇男はいない消費市場◇

トーマン・衣料部課長 正司 修治(3回卒)

最近、マーケティングの対象としての男性、特に既婚男性の影がどんどん薄くなりつつあります。妻のショッピングに付き合う夫は購買意志決定に参加させてもらえず、単なる荷物の運び人となっており、たまたま自分の物を自分で買っても家族全員から「ダサイ」と言われ、この為に購買に積極的に参加しようとする意欲さえ失いつつあるといえます。また若い層でさえ男性の発言力は段々弱くなってきており、あるスポーツ用品店の人から聞いた話ですが、例えばアベックでスキー用品を買いに来て、女性はベアルックの良否で意志決定をしようとし、男性は機能で選ぼうとするが唯唯諾諾として彼女の意志に従い満足しているとの事です。

一方、企業サイドもテレビ・コマーシャルに若い男性

タレントを多く起用し、女性を如何に引き寄せるかに腐心し、男性無視の状況といえます。

女性の就業機会が増えたと言っても、家計の経済的基盤は夫に依存する度合いがまだ高いのに何故消費生活の局面で男性は忘れ去られようとしているのでしょうか？

その要因の第一は、女性の社会進出による世帯収入に占める夫の収入のウェイトの低下でしょう。さらに銀行振込が増え、カネは妻がにぎるところになった事も大きい要因と言えます。

その第二の要因は、生活目標の違いでしょう。男性の生活目標は高密度産業社会の中で会社に偏重し、これに対して女性はむしろ消費面に大きな関心を持ち、その為の知識を豊富に持つようになり、消費をリードするという事になったといえます。

会社で捧られ、稼いだカネの用途は女性に決められ、現代はまさに「亭主、三界に家なし」と言っても過言ではないのでは、と思う次第です。

◇バルセロナの取材◇

朝日新聞大阪本社・社会部 中村 博信(18回卒)

新聞社に就職して7年、大阪に赴任して3年と少しになります。記者という仕事柄、転勤や出張は多いのですが、その中で去年夏に訪ねたスペイン・バルセロナを紹介してみたいと思います。同窓生の皆さんの中にも今年、オリンピック観戦がてらツアーを計画している方がいらっしゃるのでは。

スペイン第二の都市バルセロナは、ピカソやガウディ、ミロといった天才芸術家を数多く生んだことで知られていますが、私の出張は、バルセロナ五輪で正式種目となる野球について、あまり知られていない地元の事情を取材するのが目的でした。サッカーが盛んな欧州では、野球は日本では考えられないほどマイナーなスポーツです。バルセロナで五輪に向けて整備された最初の球場ですら外野席がなく、聞けば「観客が少ないから」。

そんな球場のひとつが、五輪メイン会場に近いモンジュイック丘にありました。試合や練習を見ていると、地中海地方の乾いた気候に慣れないせいか、すぐに喉が渇きます。しかし売店でみんなが飲んでいるのはエスプレッソ。ジュースの自動販売機なんて、町中探してもまず見かけません。

試合の方は、五輪候補クラスで日本の高校野球の地方

大会レベルですから、草野球を見ているようなのどかさが漂います。実際、地元の草野球チームで4番を打っている滋賀県出身の元高校球児に会ったほか、少年チームには日本企業の駐在員の子供たちが少なくありませんでした。また、日本で考案された軟球が少年野球用に普及しているなど、スペインと日本の野球は思いのほか深い縁で結ばれていたのです。

五輪本番では日本チームにメダルの期待がかかりますが、スペインチームは実力はさておき、開催国枠で出場できることになっていますので、応援してあげてはいいが。

ちなみに、私のひいき選手は若手のホープとして紹介されたハビエル・シビット君。バルセロナのタクシー運転手の家に育ち、将来は大リーグが夢だと話していました。アイドルタレント顔負けの美形ですが、ちゃんと活躍するかなあ。

バルセロナの一般的な観光名所については、テレビや雑誌で数多く紹介されていますので省略するとして、最後にひとつ。通訳がパセロナに18年住んでいる日本人の方だったので、取材の合間に地元の習慣など、いろいろ教えてもらいました。私がつい「会社の勤務時間は普通、何時から何時までか」などという聞き方をすると、通訳氏の答えは決まって、「バルセロナには『普通』というのがないのです」。どっぷり「人並み」意識につかった日本とはひと味違う、天才の国の言葉でした。

◇シャンベルタン村の思い出◇

住友ゴム・体育施設部長 古川 源蔵(1回卒)

昨年の私の誕生日に、ワインにうるさい仲間と三宮の店で、あるワインを開けた。そのラベルにはジャヴリー・シャンベルタン(1988)と書かれていた。私を持ち込んだ物だった。

ブルゴーニュ地方の中心地ディジョンまでは、パリからTGVで一時間である。そこから半時間ばかりの所にシャンベルタン村はある。国際テニストーナメントが開催され、縁あってその地を訪れる機会があった。

テニスクラブは葡萄畑の真只中であつた。早朝、テニスが始まるまでの時間、見渡す限り広がる葡萄畑を散歩した。土の色、葡萄の色に興味を持った。遠くに黒い点のように働いている一群の人達が目に止まり近づいて見ると一族郎党、総出で一列に並び葡萄を収穫しているところだった。始めて見る光景に、静かに、熱い心でシャッターを何度も切った。そのうち休憩時間となり、硬いフランスパンとバターと無地の瓶に入ったワインだけの質素な昼食を立ったまま私も一緒にご馳走になった。野趣に富んだものだった。

昼間は、テニスを見たりスペインから来たおばちゃん達とテニスをして遊んだりした。夕方遅くなって仕事の関係のイギリス人のボスが「今晚はすばらしい所で食事をしよう」と言った。他の四人と一緒に私にもご馳走してくれるらしい。「何という事か!こういう時に限って」と思った。どうも風邪を引いたらしい。昼間いい格好してテニスに現をぬかしたのがまずかった。悪寒が少ししてきた。旅の疲れも重なったと思う。今まで海外出張は何度も経験しているが、風邪引いたのは始めてだ。気分も優れない。ホテルに帰って寝た方がいいようにも思った。しかしシャンベルタン村の葡萄の収穫を目の当たりにして、世界のグルメが集うレストランの食事をみすみす逃したら一生後悔するのではないかと思った。断れる

はずもなかった。

ラ・ソムリエという、世界のグルメが目指して来るらしい、古城を思わせるたたずまいの、なるほど雰囲気のあるレストランであつた。日も暮れて、窓から薄明かりが漏れている。中に入ってみるとその階段を上がる時、その建物の年代と由来が分かるような気がした。楕円形の大きなテーブルに、キラキラ輝いたグラスが、結婚式の披露宴のフルコースの時よりたくさん並んでいる。目を見張るばかりだった。その理由は白ワイン、赤ワインがそれぞれ二回づつ変わるからのようだ。それに”おひや”のグラスもある。

皆の会話が弾むはずだ。そんなところに招待されれば英語での会話なので私も入っていけるし、親しい仲間ばかりなのでいつもなら冗談も通じるのにと考えた。しかしオードブルに手をつけたとたん、やはり来るのではなかったと思った。食事を胃が受け付けぬ。テナガエビから始まって海の幸から肉料理へと。それもシャンベルタンの深いルビー色の重たいワインに負けないような生の、癖のある動物の肉の料理が出て来ているようだ。

オードブルをがんばって三分の一賞味しただけで、次に出た物には手が付けられなかった。ウェイトレスはそのまま下げ、次のお皿を持ってきた。これまたうまそうな料理で、仲間のドイツ人はソースを全部パンで拭き取って口に運んでいる。私はそれにも手がつけられなかった。”食べられないからこの後の料理はストップしてくれ”とウェイトレスに告げざるを得なかった。その後も色々な料理が出たが、私の前だけに皿が無い。何も無いのはさびしいと思って、気をきかしたウェイトレスが早々と私の前にだけデザートのお皿を置いてくれた。料理に手が付かないと言うことは、ワインはもっと遠くにあるということである。ああ情けない。

ワインにまつわる話をしたら話は尽きない。駄文を重ねているとすぐに字数が尽きてしまった。そして、こういうテーマを選んだことが間違いだったと知る。やはりこういう話はワインを飲みながらするに限る。

平成3年度活動報告

創立総会開催

平成3年9月8日「アサヒ・スーパードライ(首根崎新地)」にて同窓生160名の参加のもと盛大な集まりがもたれました。遠くは高知・室戸からの参加もあり、時のたつのも忘れ楽しい一日を過ごすことが出来たと思います。

長崎南創設時の梅田和郎先生、関西長崎県人会会長、大阪長崎県事務所長、長崎本部の岩永会長、角町副会長らの参加も華をそえました。

幹事会

平均月1~2回の幹事会を開催。

平成4年1月、10回生幹事・榎田政純さん東京転動で有志送別会。

平成4年2月、1回生副会長・八尋重義さん東京転動で有志送別会。

同窓会派遣

平成3年10月、関東同窓会総会(新宿歌舞伎町)に参加。総勢350名の盛会。

平成3年11月、本部同窓会に参加。

” 同窓会本部での30周年記念式典に参加。(記念式典のビデオは事務局にて貸出中)

組織人員

関西同窓会(近畿圏内)総会員数、約800名。

年会費

総会不参加者に対し年会費2000円の振込を依頼し、現在までに112名の振込があります。今回の会報の発行及び同窓会の事務費として最重大財源です。

会費納入者一覧表(平成3年度)

Table with 3 main sections, each containing columns for '回数' (Number of Returns), '会 員 名' (Member Name), '旧姓' (Former Surname), and '回' (Return). The table lists numerous members and their family names across 27 numbered returns.

☆平成3年度創立總會出席者

ご存知ありませんか

下記の方々は昨年度、転居先不明等で郵便物が戻ってきた会員です。
ご存知の方は事務局までご通知をお願いします。
また、転居等で最近関西地区に居住された方のご連絡を熱望します。

回	氏名	旧姓	回	氏名	旧姓	回	氏名	旧姓
2	江川次雄	平山	12	松永博幸		23	中寛	
3	中村和隆	峰	13	出利葉太			中尾潤	
4	辻山浦優武		19	上比良浦木		25	中山早井	
5	松平野尾川田崎		21	高山荒渡野		26	古賀野道	
	松小苑森	増田	22	下釜		27	立安	
9								

編集後記

- 「原稿、書いてくれんね。」「ああ、ヨカバイ。」この短い会話ではあるが、殺伐とした社会生活での疲れを吹き飛ばしてくれると同時に友情の重みを感じさせる。やっぱり旧友とは素晴らしいものである。会報紙が会員にとって、異郷で聞ける母国語の役割を果たせたらと願う今日今頃である。 -K・I-
- 「終わった！」私の担当は表紙と、編集会議に出席すること？絵は関西在住の知人に大浦天主堂の写真を渡して描いてもらったものです。彼女は二科展に出品する芸術家、草木染の手編のセーターと物々交換した手間ひまのかかった作品です。 -H・S-
- 最初の会報発行であり、難行苦行を予想したが、地球の反対側まで手を廻す旺盛な原稿収集者と、鉄腕植字工（ワープロへのインプット）の奮闘の賜物で遂に完成にこぎつけた。原稿依頼で自宅に電話をかけ、配偶者から誤解されはしないかと苦心した女性もあった。ここまで来た動因は、会員の同窓会へ向ける熱き思いに何とか応えたいという気持ちだった。会費納入者が多数にのぼったことを、多くの人が情報を求めていると受け止めたことによるといえる。 -T・M-
- 会報のネーミングにおいては、「堅苦しくなく、長崎らしく」をイメージしました。他にも「おたびしょ」などありましたが、『いしたたみ』としました。 -T・K-

長崎南高関西同窓会事務局
 ☎530 大阪市北区西天満3-6-3 西天満福岡ビル4F
 松本法律事務所内 松本 藤一 (2回卒)
 TEL 06(365)6445(代) FAX 06(365)7081

発行：平成4年6月